

全 日 大

12 / 53



第12回世界仏教徒会議は、10月1日～6日まで東京・京都で開催されたあと、7日からは広島、鳴門、長岡など10カ所において地方大会が盛大に開かれ、海外代表団一行は地元仏教徒との交歓親善の輪を広げ友情を深めるとともに日本の秋を楽しんだ。(写真は京都寺院巡拝中に、天竜寺で修学旅行生と代表団の交歓風景)

WFB大会に先立ち総会

新加盟団体などを承認

世界仏教徒会議(WFB)総会は、大会前日の九月三十日午後三時より、東京グランドホテルに大会参加センターの主席代表が出席して開かれた。

総会は、ブーン会長病後のため副会長のスナオ・ミヤバラ氏を議長に指名し、ミヤバラ議長のもと次の事項について審議した。

一、WFB事業報告
ブラサート事務総長よりWFB本部の事業報告がなされた。

一、財政報告
WFBの財政報告がなされ承認。さらに本部の必要経費をタイ政府が負担していることに対し、感謝の意を表すべく議事録に記入することが提案され承認された。

一、加盟団体の承認

次の団体が地域センターとして加盟承認された。

- ヨーロッパ禅協会(フランス)
- 在伯仏教各宗連合会(ブラジル)
- ロスアンゼルス仏教連合会(米国)
- ガブガン・トリマルダ・インドネシア

- ユニバーサル仏教寺院(カナダ)
- ザ・フディスト・ユニオン(シンガポール)
- チベット・ニンマ・メディテーション・センター(米国)
- ババサエブ・アンベドカル博士記念協会(インド)

一、ルンビニ計画
ルンビニ計画についてネパールのアムリタナタ氏が「ネパール政府はルンビニのために道路、空港、電気、水道などの基礎的施設を提供するため広範囲な活動を展開している。開発計画の第二期は

一年のうちに実行に移され、一九七九年は「ルンビニの年」と宣言されよう」と説明した。

一、大会の役員

まず報告書作成の常任者に佐藤良純師を推せん、承認された。
次に運営委員会のメンバーとして、次の者が総会で承認された。
スナオ・ミヤバラ、ブラソン・ブンチヨム、アルバート・エディリシング、スタンレー・ウィリアム、鎌田良昭、花山勝友、真溪義貫、ブラサート・ラングスカル(WFB事務総長)

また常設委員会の委員長として今大会欠席の、人道奉仕委員会、布教委員会、青年委員会について、臨時委員長を任命することが承認され、ジュンチャイ氏、クラシヨフ氏、平原隆秀氏がそれぞれ選出された。

一、執行委員

WFB憲章第十条一項の規定に従って、総会は次の執行委員を次大会まで継続するよう再選した。
スナオ・ミヤバラ氏、スタンレー・ウィリアム氏、テン・チュイ氏、全日本仏教会国際部長又はその代理人

また監査役としてブーンスイ・ヒラニー・プラチ氏を再選した。

一、第十三回大会の開催地

第十三回WFB大会の開催地として候補あったが、審議の結果、タイ仏教会とタイ仏教青年会共催によるタイ国開催が承認された。

常設委員会で活発な討議

核兵器廃絶など決議

WFB常設委員会は、十月三日午前九時半より、東京グランドホテルの会議室

などにおいて開かれ、①財政 ②出版・広報・教育・文化・芸術 ③布教 ④人

道奉仕 ⑤団体と連絡 ⑥青年の六委員会、WFB加盟センター提出議案を討議した。

【財政委員会】崎淵正浩委員長のもとに開かれ、WFB会費未納センターが多く、納入の遅延をさせないこと、さらに

今大会参加者に、WFBへの財源として寄付を集める旨の決議をした。

また世界各地の仏教を信奉する個人、団体などに特別寄付や補助等を要請する旨の見解をまとめた。

ユネスコへ決議文

【出版・広報・教育・文化・芸術委員会】へワーゲ委員長のもとに開かれ、まず委員長より、前回の会議で承認された四決議と一提案について簡単な説明があった。このあと提出議案についての討議がなされた。

一、前回の大会で、多くのWFBセンターに関する情報を集めて出版するという提案が承認されたにもかかわらず、少



◇…布教委員会…◇

数のセンターが実行したにすぎない。この企画に日本センターは率先して出版した。すべてのWFBセンターが、次期大会までに、同様な情報を収集し出版するよう要望する。(日本提案)

一、開発と世界平和のための宗教の役割に関する研究プログラムを始めることをユネスコに要求する。

また十二回WFB日本大会の名においてユネスコの第二十回総会に「世界中の偉大な宗教が程度と方法を問わず、開発ならびに世界平和のため如何に貢献できるかを探求する特別研究プログラムを創設し、その報告書が第二十一回総会に提出されるよう要請する。さらに一九八一年から十年間を宗教を通して平和の十年と宣言するよう要請する」の決議文を提出することが承認された。(スリランカ提出)

このほか、WFBレヴューへ世界各国仏教徒の活動状況提供依頼(タイ提案)は要請として処理。WFB創設者マララセーケ博士の伝記を出版してほしい(シンガポール提案)の提案は、財源をみつけた場合の条件付きで原則的に承認。またバングラディッシュからの提案は撤回された。

【布教委員会】マックス・グラシヨフ委員長のもとに開かれ、まず前回の決議文が読みあげられ、これに関して各センターよりその活動報告があったあと、熱心に討議がつづけられ、次のような決議を承認した。

一、WFBの指導のもとに、各地域セ

◇…出版委員会…◇



ンターは布教活動を広げるべきである。そして活動を強化し、理解と親睦を深めるため僧侶、学者の交流を促進すべきである。

今日の物質的世界の人類を救済するため、色んな流儀の思想が提供されるべきであり、このことは新しい道場と教師の養成を支援しようということである。

仏教国では、外国からの旅行者のため平易な仏教小冊子を出版すべきである。(以上バングラディッシュ、インドなどの提案)

麻薬の撲滅働きかけ

【人道奉仕委員会】ブーンヨンク・フオンワニツヒ委員長のもとに開かれ、地域センターより提出された案件について

討議し承認した。

一、すべての地域センターにおける仏教行事の中で、慈悲の心を広めるため慈悲文を唱えよう。(タイ提案)

一、日本は原爆の恐怖を経験した唯一の国であり、その原爆は多数の死傷者を出した。また今日でも後遺症で亡くなる人がある。WFB日本大会の名においてあらゆる諸国の指導者に、核兵器をはじめとする人類破壊兵器の廃絶と生産・貯蔵・使用禁止を訴え、そのエネルギーを人類福祉のために使用するよう決議する。(日本、インド、モンゴル提案)

一、麻薬の乱用は現代世界の一つであり、その撲滅のためWFB地域センターは、仏陀の倫理的教えによって問題解決するよう努力し、各政府に働きかけること。(シンガポール提案)

このあとベトナム代表からアピールがあり、増上寺での五人のベトナム僧のハシカーストライキにふれ、委員会に対して、この要求を検討するように求められ討議の結果、「ベトナムにおける仏教徒の人権の現状を改善するため、ベトナム代表団はWFBの地域センターと連絡をとりあい善処するよう」勧告した。

【団結と連帯委員会】クー・レオン・フン委員長のもとに開かれ、討議の結果全体会議に次の決議をすることを全会一致で承認した。

一、世界平和実現のために仏教徒は、世界の他の宗教指導者と連絡し合い、青年・婦人をはじめ協力して積極的な運動をすすめるよう。(日本、モンゴリア

提案)

一、ルンビニ復興を推進するため、明年(一九七九年)を「ルンビニの年」と定め、開発計画にあらゆる支援をする。(ネパール提案)

なお「仏歴の国際的採用のウエサカを統一した日に行なおう」は次回大会まで継続審議となった。(日本提案)

【青年委員会】平原隆秀委員長のもとに開かれ、具体的な実践について活発な意見が出され、次の決議がなされた。

一、青少年教育を推進し、彼らの心に道徳と戒律の美徳を指導する。またマス

コミ(新聞、ラジオ、雑誌など)を通じて、恒久的な世界平和を呼びかけ、青少年の育成に努力する。(シンガポール提案)

常設委員会の全報告 全体会議で承認

全体会議は、十月五日午前九時より、増上寺地下ホールで、クレーオン・フンWFB副会長が議長をつとめて開催された。

まず常設委員会の報告が行なわれ、財政委員会は佐藤良純氏より報告があり承認された。出版・広報：芸術委員会はへ

案)

なおこの委員会ではWFBY大会の問題にもふれ、要望などがなされた。

ワレゲ委員長より報告があり、決議案が承認された。人道奉仕委員会はジュンチヤイ・ブリア氏が報告、団結連帯委員会はデーリアン・ベン氏が報告、布教委員会はクラシヨフ氏が報告、青年委員会はゴー・センク・チャイ氏が報告しそれぞれ承認された。

さらに起草委員会でまとめられた「日本大会宣言」も万場一致で承認された。その他に次のような提案、要望がなされた。

①承認された決議文を全地域センターに配布してほしい。

②WFBはチベットを含め多くの国における仏教徒弾圧の調査をするべきである。

③WFBはインドの仏教徒の状況を調べ、その改善のため援助すべきである。最後に主催の全日本仏教会に感謝する決議があつて、全体会議を終了した。

WFB大会を顧みて

全日本仏教会理事長 町田 宗 夫



会にわたり諸行事が華々しく展開され、成功裡に無事円成となりました。これは、日本仏教会にとって無上の喜びとするところであります。これも偏るに本大会の諸準備に献身された全ての関係者各位の物心両面にわたる御支援助と、御精進の賜物と衷心より感謝申し上げます。

今日まで二千五百年以上にわたる仏教の発展史の中で、現在殆ど全ての世界各地に、何らかの形で仏教活動が着実に進展しつつある事実を、本大会中に親しく見聞することが出来たこと

は、参加者全員、特に日本の仏教者にとつては、筆舌に尽くし難い感銘であったと確信いたします。これも初期仏典の律蔵中に明記されているように「一比丘等よ、遊行せよ、大衆の利益、安樂の為に、世人への憐愍の為に、天人の利益、幸福、安樂の為に、一つの道を行く勿れ」との精神が弟子達に強く説示した結果の現代的成果と申せましょう。我々島国に住む日本の仏教者は本大会のような千載一遇の機会を得て、種々なる相違点を伝統とする世界各地の仏教活動の代表者と、率直かつ前進的な情報、知識の交換から、人物交流を深める機縁を得たことは終生の思い出となり、特に本大会に参加された日本の若い仏教者にとつては、将来仏教を通じての国際的交流が出来る素養を身につける出発点となる

ことを確信し、かつ念願しております。今後我々は積尊の最後の遺訓「不放逸にして精進せよ」を念頭にして全日本の仏教者は老若男女を問わず継続的な精進を続け、日本仏教が国外においてより正しい理解を得られるように尽力することが緊急課題であると確信し、同時に日本以外の各地での仏教活動に対するより一層の理解と支援を増進させる必要を痛感しております。このような努力を通して我々が二十一世紀に仏陀のメッセージを伝え、人類全体の恒久平和と仏法興隆に貢献出来ることをひたすら念ずるのみであります。

【写真は町田理事長】

台筆

にぎやかに地方大会



鳴門市民会館で行われた四国地区の大会

行なわれ、賑やかに歓談の輪が広がった。

妙心寺大会

期日 十月七日

場所 京都・妙心寺花園会館

主催 臨済宗妙心寺派花園会

妙心寺大会は、同日開催の広島、鳴門などの大会に参加しない二百余名の代表が招待され、午前九時に南門に到着、後藤宗務総長はじめ役員、花園会、花園高校、ゆりかご保育園児らの出迎えをうけた。フラスバンドの吹奏の中を大方丈に入り少休。

大会開場の法堂に入り、高橋総務部長の開会の辞につづいて、献灯の舞などのあと山田管長より歓迎の辞がのべられ、次に後藤宗務総長より挨拶があった。これにこたえて海外代表として、WFBデー・テン・チュー副会長が謝辞を行なった。このあと千坂花園会本部長より「おかげさま運動」についての提言がなされ、薬師寺花園会長が宣言文を読み上げ、満場の拍手をもって承認した。

このあと大方丈にて歓迎昼食会が盛大に開かれ、各センターより記念品が贈られ、また妙心寺からも記念品が贈呈された。記念撮影のあと、退蔵院の庭園を見学し歓談を深めた。一行はここで高野山

へ行く組や帰国する組、神奈川大会へ参加する組とに別れて散会した。

四国地区大会

期日 十月七日

場所 鳴門市民会館、ドイツ村

主催 鳴門仏教会(協賛・徳島

県仏、高知県仏、愛媛県

仏、香川県仏、鳴門仏教

護持会)

四国地方大会は、鳴門市とドイツ・リューネブルク市が姉妹都市であり、坂東ドイツ人捕虜収容所があった関係で、ドイツセンター代表五名が招待された。

一行は徳島空港で、安立鳴門仏教会長らの出迎えをうけ、バスにて大麻町にあるドイツ村を訪ね、ドイツ兵士慰霊祭にのぞんだ。第一次大戦中に日本での捕虜生活中に没した兵士の慰霊碑前において大橋徳島県仏会長の導師で、しめやかに法要が厳修され、駐日ドイツ領事も参列し代表団とともに献華した。

このあと一行は、ドイツ館にて収容当時の写真などを見学、館長や市関係者とドイツ村建設について懇談し、ドイツ橋見学のあと、鳴門市役所を表敬訪問して谷市長と歓談した。

午後からは、市民会館にて交歓会が一千名を集め、また四国各県仏会長や市長など出席し盛大に行なわれた。挨拶、代表団紹介、記念品贈呈や、グラスジョフ代表の「ドイツの仏教事情」についての講演、舞踊、阿波踊も賑やかに行なわれた。

広島大会

期日 十月七日

場所 広島平和公園、国泰寺

主催 広島市仏教会

広島大会は、米国仏教団やハワイセンターなどの代表十六名が、平和宣言都市「ヒロシマ」を訪れ、まず福原市仏会長の自坊である国泰寺で武家作法による抹

茶の接待をうけ歓談。そのあと一行は平和公園において原爆犠牲者の合同追悼法要を行ない、核兵器撲滅、世界平和を祈念した。また原爆資料館を訪れ、生々しい資料を手に、核の恐怖をつぶさにみて平和への誓いを新たにし、市役所において荒木市長とも会見し懇談した。

夕方は、広島グランドホテルにおいて歓迎レセプションが開かれ、福原会長や辻頭隆米国仏教団センターの挨拶などが

このあと観潮船にて「鴨門のうす朝」を見学、夜は鴨門ハイツにて歓迎会が開かれ、阿波踊を一緒に踊るなどたいへんな歓迎ぶりであった。

鴨江寺大会

期日 十月七日～十一日
場所 浜松市鴨江寺
主催 鴨江寺

鴨江寺大会は地方大会とはいえ、その内容は他の大会と趣きを異にして開催された。

参加者はヒルマ、インド、チベット、スリランカの比丘が主体で、建部公秋任

高野山でお参りをする一行



職の熱意により、仏教研修セミナーが、十二日までの五泊六日の日程で行なわれた。セミナーはパーリ語研究、チベット仏教研究などで、座談会、シンポジウムなどが行なわれ、講師として水野弘元、駒沢大副学長、宮坂有勝名古屋大教授やウーシーラナンタ長老(ヒルマ)が参加し有意義な地方大会であり、大きな成果をあげた。

高野山大会

期日 十月八日
場所 高野山金剛峯寺
主催 〃

高野山大会はタイ、香港、インドなど八十余名が招待をうけ、七日の午後京都妙心寺を出発、奈良五条市の弁天宗本部を表敬訪問し、途中車の混雑にあい高野山には八時すぎに到着。気温十度を割る寒さの中を阿部野宗務総長以下役職者が出迎え、一同感激のうちに宿坊へ。

翌朝は奥之院、灯籠堂などを参拝し、バスにて高野山大学松下講堂に向い、同所で開かれている高野山参入会の開会式に来賓として出席、代表団を代表してアラソン・ブンチョン氏が祝辞を述べた。

このあと総本山金剛峯寺に参拝して別殿大広間における歓迎昼食会にのぞみ、高峰管長より歓迎の言葉があつて精進料理をいただいた。各国代表より記念品が高峰管長に贈られ、また高野山からも記念品が贈られるなどの交換があり、なごりを惜しみつつ、一山役職員の見送りを

うけ帰路についた。なお途中で東大寺を表敬訪問し、清水管長より歓迎のごほうびをいただいた。湯茶の接待をうけた。

神奈川大会

期日 十月九日
場所 川崎、鶴見、鎌倉
主催 神奈川県仏教会

神奈川大会は、まず川崎大師平間寺参拝からじまった。バス二台に分乗したインド、スリランカ、マレーシアなどの代表は、貝山県仏会長や県仏役員案内で和やかに出発。

川崎大師では、高橋貴首の出迎えをうけ、一行の健康と道中安全のゴマがたかれたあと、信徒会館にてお茶の接待をうけながら、当寺自慢のスタンドグラスの説明に耳をかたむけた。

バスは鶴見の大本山総持寺へむかい、松浦監院の案内により諸堂参拝、世界平和祈願法要などを行なった。終って精進料理(点心)をいただいたが、すべて禅宗の作法にのっとったもので、一行は深い感銘をうけた。

鶴見をあとに、鎌倉高徳院大仏殿を訪れ、一行はそれぞれに大仏前で三福五戒文を唱え、佐藤貴主の案内で庭園を散策し鎌倉の秋をのんびりと楽しんだ。

夕方に横浜の華正楼に入り、県仏主催の歓迎会にのぞんだ。貝山会長の挨拶のあと中華料理に舌つづみをさうち、飲むほどにお国自慢の歌がとびだすな日本のな宴会となり和やかに楽しい交歓会とな



◆勤勉実直

鴨門大会に招待されたドイツセンターのグラシヨフ代表は、何事にも実直で、車窓より「あれは何ですか」と質問の連続に通訳も右へ左へと首の運動。夜は日本式のフトンや風呂の使用法まで熱心に質問し、外国生活の長かった通訳氏いわく「俺の方が聞きたいよ」とのこと。

◆ホームで大歓迎

長岡大会の任巻は長岡駅ホームの出迎えで、善物姿のお嬢さんが花束をもってすうり勢揃い。これにはタイ、フランスの代表もびっくり。そのあと駅長の先導で改札口へ。いや大歓迎でした。

◆タイダンス

長岡大会の歓迎は夜まで続き、その歓迎ぶりに感激したタイのWFBヘッドコーターの面々は、全員でタイダンスを披露して歓迎に応えた。

◆寒さこらえて

天気はよかったが肌寒い高野山では、南方比丘が衣の下にトックリの手ターター、日本へ来てから買入れたとのこと。タイの面々は黄色の手



川越の喜多院を訪れた一行

った。特に光明寺・石井真峯住職のスビ
ーチは、過去数回WFB大会に参加した
思い出などが英語で行なわれ、参加者一
同から盛んな拍手をあげた。

比叡山大会

期日 十月九日
場所 比叡山延暦寺
主催 #

比叡山大会に参加するタイ、フランス、
韓国、香港など各センター代表は、新都
ホテルを出発し、京都市内をぬけて比叡
山へ。比叡山役職者の出迎えをうけ大講
堂にて平和祈願法要に参列。

法要は山田天台座主大導師のもと、山
内住職総出仕で諸天讚声明などの伝統法
統法要が行なわれ、山田座主より歓迎の
辞が述べられた。このあとタイ、韓国、
香港などのセンターより記念品が山田座
主に贈られた。

引続き場所を書院に移し歓迎昼食会が
開かれ、池山副執行の挨拶のあと見事な
精進料理に舌つづみをうった。とくに書
院は特別な賓客しか通さないところだけ
に、一山あげての歓迎に一行は感激して
白聖法師(台湾)の謝辞も力がこもって
いた。

昼食後は根本中堂を参拝したあと、バ
スで横川中堂、釈迦堂、秘宝館を巡って
宿舎の比叡山観光ホテルに入り、夕食会
では各国代表ののど自慢などが披露され
終始なごやかな雰囲気であった。

東園寺大会

期日 十月七日、十日
場所 塩釜市東園寺
主催 東園寺

東園寺住職・千坂精道師(妙心寺花園
会本部長)の、シンガポールとの二十五
年にわたる交流により開かれたこの大会
はシンガポール代表十三名を招待して行
なわれた。

奈良の観光をおえた一行は空路仙台よ
り塩釜・東園寺を訪れ、シンガポール仏
教会から寄贈の仏舎利を奉安した三重塔
建立二周年祠堂祭に参列、檀信徒三百人
が迎えるなかで挨拶や記念品贈呈が行な

われた。さらに多賀城ホテルにて盛大な
夕食会が開かれ山海の珍味に話もはずん
だ。

翌十日は東園寺中央幼稚園を訪れ、園
児の熱烈な歓迎をうけたあと、松島の瑞
巖寺を参拝、秋の松島観光を行なうなど
一行は日本の旅情をも楽しんだ。

埼玉川越大会

期日 十月十一日
場所 川越・喜多院
主催 埼玉県仏教会

川越市の天台宗喜多院で開かれた埼玉
川越大会は、韓国、香港などの代表者二
十四名が招待され、第一回埼玉県仏教徒
大会と併合して開催された。

埼玉県西部地区の檀信徒を主体に八百
名余で満堂となった喜多院本堂において
岩崎埼玉県仏会長長の歓迎の辞のあと、代
表団全員が紹介され、一行を代表して中
華仏教居士会の李襄理事長が挨拶。つづ
いて来賓の畑和県知事などが挨拶をして
歓迎の意をあらわした。

このあと喜多院住職の導師で法要が営
なまれ、次に中華(台湾)仏教会による
法要が行なわれた。

法要後、無量寿殿前の庭園にて歓迎昼
食会が行なわれたが、菜食コーナーには、
特に京都へ留学している中華仏教会の尼
僧さん二名が前夜より料理したメニュー
がはこばれ好評であった。昼食後に五百
羅漢像、東照宮に参拝して同寺を出発。
バスにて高麗山聖天院、高麗神社を参拝

袋、「寒いのでさっき買ってきまし
た」と他の代表に自慢していた。南
方では考えられない寒さに対処して
ました。

◆七味ソバ

高野山への道中でドライイブイン
へ。某国センターの面々は立食いソ
バを賞味していたが、なんとなんと
真赤なソバノ食べ終ってみると七味
トラカラスの入物は空っぽでした。
ソバ屋さん失礼。

◆サケジュース

大阪空港でジュースを買ったドイ
ツセンターのストー夫人、一口飲ん
で思わず「キヤー」それもそのはず
で、自動販売機で買ったのはキャン
のサケでした。

◆精進料理をカメラに

比叡山での歓迎昼食会の席で、自
慢の精進料理に舌つづみをうった
が、Aセンターの代表はハシならぬ
カメラをむけてパチリ。「スバラシ
イ。国に帰ったら説明します」との
ことです。

◆瞑想の時間

鎌倉大仏を訪れたエディリシング
夫人は、連日のハードスケジュール
から開放され、大仏裏の木の下のし
ばし瞑想。本人曰く「やっと静かな
時間をもてます。ここは瞑想の場に
最適です」とのこと。

して帰京したが、同地は韓国と縁の深いところで、代表団には特に感慨深いものがあった。

新潟長岡大会

期日 十月十一日
場所 長岡市立劇場
主催 長岡市仏教会（後援・新潟県仏教会）

長岡大会は、長岡駅到着と同時にその歓迎ぶりに驚ろかされる。タイ、フランス、スイスの代表が招待され、ホームで全員に花束贈呈。歓迎夕食会は純日本風に行なわれ、日本の踊りに対して、すっかりくつろいだタイWFB本部ヘッドコーナーの面々はタイダンスでこれに心えた。翌十一日の午前中は中村啓誠市仏会長長の自坊を訪れ、交歓親善を深め、池田忠蔵檀信徒会長長私宅の仏間に、日本の家庭信仰を見聞した。

このあと午後から長岡市立劇場に千名が参加して大歓迎地方大会が開かれ、「悠久大鼓」で賑やかに幕をあげ、金子市仏副会長の開会の辞のあと、地元のお嬢さんとタイ代表が献華、広川県仏会長と中村市仏会長の挨拶とつづき、代表紹介のあと、それぞれの首席代表が挨拶を行ない盛んな拍手をあびた。

小林長岡市長など采賓祝辞のあと、勝又大正大学長の記念講演があつて閉会となったが、特に長岡市檀信徒会の活躍を付記しておきたい。

昭和54年版

「全仏手帳」

申込み受付中

全仏総務局では、左記要領にて「全仏手帳」を発行しますので部数に限りがございますので、御注文はお早めに。

内容 三帰依文、四弘誓願、宗門聖日、加盟団体役員住所録、忌日早見表、その他

サイズ 9×14cm

定価 五〇〇円（送料実費）

申込先 東京都台東区西浅草一―五―一五（〒一―一） 全仏総務局「全仏手帳係」宛

WFBの一行、古都の秋と寺院巡拝

第十二回WFB日本大会は五日に東京での諸行事を終え、新幹線にて京都に入った。明けて六日は古都の秋と寺院巡拝のため三コースに別れて出発した。

（東コース）

ホテル→東本願寺→南禅寺→順正（昼食）→知恩院→智積院→京都国際会議場（南コース）

ホテル→東寺→方福寺→醍醐プラザホテル→醍醐寺→京都国際会議場（西コース）

ホテル→西本願寺→大覚寺→仁和寺→

天龍寺→京都国際会議場

海外代表団は会議とはちがって生々とした顔で各寺を参拝し、さかんにカメラのシャッターを切るなど、すっかり和やかな空気で古都を楽しんだ。また各寺ではそれぞれ歓迎をうけ、大覚寺での精進料理をはじめ、お抹茶などの接待に感激していた。

◆掲◆示◆板◆

増上寺、金戒光明寺で晋山式

▼浄土宗大本山の東京芝・増上寺と京都黒谷・金戒光明寺では、揃って新法主を迎え、十一月六日光明寺において藤原弘道法主の晋山式、十一月十六日増上寺で藤井実心法主の晋山式が盛大に執り行なわれた。

浅草寺本尊示現二三五〇年

▼聖観音宗・浅草寺の本尊示現二三五〇年記念法要ならびに奉讃行事が、春につづいて十月十五日より一ヶ月間盛大に開かれ、この間記念法要や諸行事が行なわれた。

孝道山大統領本葬

▼孝道教団・岡野正道大統領の本葬儀は九月十八日午後二時より、山田天台座主大導師のもと、しめやかに営まれた。

須磨寺派管長本葬

▼須磨寺派・小池真禅管長の本葬儀は、九月三十日に高峰高山真言宗管長大導師のもとに厳修された。

西山浄土宗人事

▼西山浄土宗では頼松祥倫宗務総長の任

期満したともない、後任に安井俊雅師を選出した。

事務総局録事十一月

- 六日 東寺真言宗加盟承認書伝達
- 十三日 特別算財委員会
- 十四日 佼成会法輪閣落慶式出席
- 十五日 局内会議
- WFB紀要編集委員会
- 十六日 増上寺晋山式参列
- 十七日 正副委員長会議

おことわり

「第十二回WFB日本大会への寄金」は紙面の都合上次号に掲載いたします。

寺院用具

浅草通り五鳳会加盟店

株式会社 決田商店

東京都台東区寿2-10-9（地下鉄田原町駅前）

電話 代表 (841) 4965

